

共働き家庭の時間的貧困に関する調査研究

【代表者】

杉田菜穂 大阪市立大学 経済学研究科 准教授

【共同研究者】

安達智子 大阪教育大学 教育学部 准教授

淵上ゆかり 大阪大学 国際共創大学院学位プログラム推進機構 特任助教

【研究概要（申請書より抜粋）】

女性のフルタイム労働者の増加に伴って、共働き家庭の時間的貧困が浮き彫りになっている。その背景の一つとして、仕事と家族的責任の両立について個々人の努力が迫られるなか、両立支援策には働き方の多様化に伴う長い通勤時間や、配偶者との望まない別居婚といった課題が視野に入っていないことが指摘される。この問題について先進的なアメリカや国内でも検討、取り組みがはじまって間もない。よって、本申請による研究では共働き家庭を営む人々の抱える時間的貧困の実態、および彼らが勤務する組織における取り組み経緯などを含め、聞き取り調査によって改善に向けた課題を明らかにする。

本申請で連携する3者の研究上の専門分野はそれぞれ異なるが、ワーク・ライフ・バランスに対する問題意識を共有している。本申請による共働き家庭の時間的貧困に関する調査活動とその成果の共有を機に、大阪教育大学－和歌山大学－積水ハウス株式会社－大阪市立大学のワーク・ライフ・バランス研究ネットワークの形成につなげたい（次年度への展開を検討している）。

なお、研究代表者は公式・非公式に女性研究者支援に積極的に取り組んでいる大学の取り組み状況の把握に努めてきた。研究代表者については、次年度への展開を意識して、女性活躍×両立支援策の関係づけによる女性のキャリアアップについての方法論的考察と女性活躍×両立支援策の関係づけが進んでいる機関への聞き取りに力を入れる。それにより、本申請による成果が、大阪教育大学－和歌山大学－積水ハウス株式会社－大阪市立大学のダイバーシティ雇用環境の実現や女性活躍に寄与するものとなるように努めたい。